

令和2年度 共同運航実習船「翔洋丸」第2次遠洋航海実習④ (R3.02.01)

いよいよ操業実習が始まりました。生徒たちは、最初は緊張や不安の表情を浮かべていましたが、実習が始まるとみんな真剣な表情で積極的に取り組んでいました。

投縄、揚縄前半、揚縄中盤、揚縄後半の4つの班に分かれ、毎日ローテーションで実習を行います。これから20回ほど操業実習が行われますが、操業実習初日では、マグロ類やカジキ類を中心とした様々な魚が釣れ、良いスタートが切れました。次々と揚がってくる大きな魚に生徒たちはみんな興奮している様子で、常に目を輝かせていました。(野口先生より)



早朝から、1680本の針を入れる投縄作業



メバチまぐろ



フウライカジキ



バショウカジキ



ビンナガマグロ



フウライカジキ

※出港して2週間の健康観察で異常もなく、気温が30℃近くあるため、作業中はマスクを外しています。